

心臓外科手術の適応となる難治性致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）の病態解明のための観察研究

1981年1月1日から2020年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科ならびに循環器内科に入院され、致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）に対する心臓外科手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当院では「心臓外科手術の適応となる難治性致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）の病態解明のための観察研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、1981年1月1日から2020年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科（旧第二外科）ならびに循環器内科（旧第一内科）に入院され、難治性致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）に対する心臓外科手術を受けた患者さんの特徴と電気解剖学的3Dマッピングによる所見を詳細に検討し、不整脈の発症原因を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：心臓外科手術の適応となる難治性致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）の病態解明のための観察研究
研究期間：研究実施許可日～2026年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 村田 広茂

（2）研究の意義、目的について

本研究の目的は、これまでに日本医科大学付属病院心臓血管外科ならびに循環器内科に入院され、難治性致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）に対する心臓外科手術を受けた患者さんを対象とし、臨床経過や検査所見、術前もしくは術中に施行した電気解剖学的3Dマッピングを使用した心臓カテーテル検査（心臓電気生理学的検査）の所見に関して比較検討を行い、心臓外科手術の適応となる難治性の致死性不整脈の原因を評価することです。

本研究の結果は、難治性致死性不整脈における不整脈発生起源の特徴と治療困難な要因を評価することを可能とし、致死性不整脈に対する内科ならびに外科治療の効果向上、再入院率の低下、予後改善効果そして医療経済的な有益性が期待されます。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

1981年1月1日から2020年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科ならびに循環器内科に入院され、難治性致死性不整脈（心室頻拍、心室細動）に対する心臓外科手術を受けた患者さんの情報、検査所見、病理所見、治療内容などを調査する研究を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：患者情報（年齢・性別・既往歴・家族歴）、検査所見（血液検査・心電図検査・心エコー図検査・心臓MRI検査・心臓核医学検査、心臓カテーテル検査など）、病理所見（心筋生検・他臓器の生検結果）、治療内容（内服薬・ペースメーカーなどの植込みデバイス治療、カテーテルアブレーション、手術所見）

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドライン」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

（6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 病院講師 村田 広茂

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24580

メールアドレス：s7086@nms.ac.jp